

DIYハンドブック DIYで フローリングの 張り替え

美しく仕上げるポイントは、ここ！
道具選びからワンポイントアドバイスまで。
初めてでもカンタンにできる
テクニック満載。



さっそくトライ!

古いフローリングの上から新しいフローリングを張る

STEP 1 張り替え準備

既存床を掃除機で清掃し、ワックスを剥離剤などで取り除く。



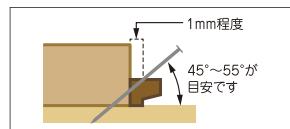
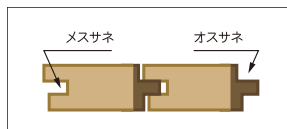
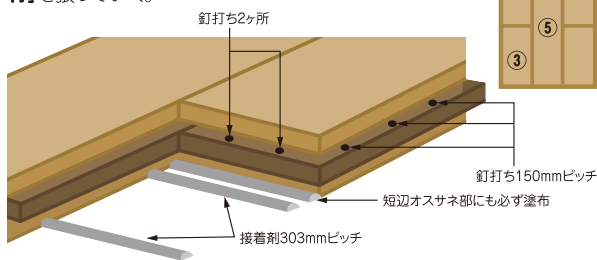
STEP 2 フローリング材の割付

【フローリング材】を仮並べし、全体の色、木目のバランスを確認する。



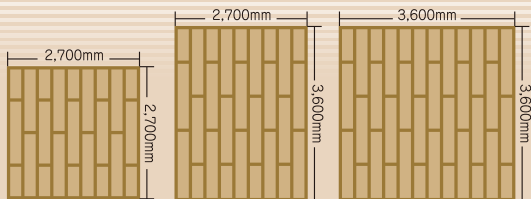
STEP 3 フローリングを張る

張り始めは、メスサネを壁に向けて、①②③の順に【接着剤】と【スクルーネイル】を併用して【フローリング材】を張っていく。



D.I.Y.アドバイザー
ワンポイント!

フローリング材の 必要枚数の目安



4.5畳間の場合
※約7.3㎡
約14枚 (3ケース)

6畳間の場合
※約9.9㎡
約18枚 (3ケース)

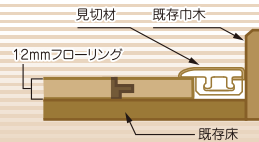
8畳間の場合
※約13㎡
約24枚 (4ケース)



D.I.Y.アドバイザー
ワンポイント!

あて木

あて木を使用して打つと
キレイにはまりやすい。

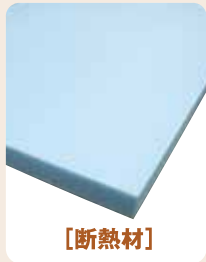


壁ぎわの納め方
見切材を使用するとキレイに納まります。

お店で揃える材料

必要な材料と道具

材料



道具



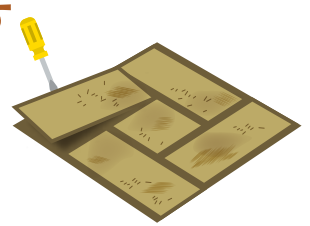
畳をはがしてフローリング

STEP 1 畳をはがす

【マイナスドライバー】や【ノミ】を使って畳を持ち上げ、剥がしていく。

- 下地材に腐りやきしみがなく、段差や傾きがないかを確認。

※ 傷みがある場合は下地材を張り替える。

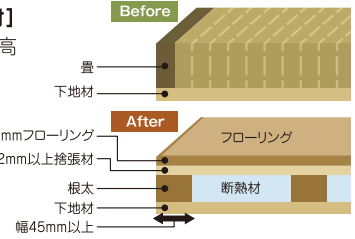


STEP 2 高さを調整する

畳の高さに【根太】【捨張材】【フローリング材】を重ねて高さを合わせる。

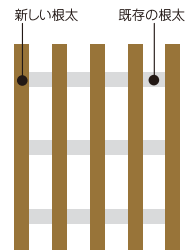
- 下地材からフローリングまでの高さは、現場で調整する。

- 住宅用床材は【根太】に直接施工できません。



STEP 3 根太を固定する

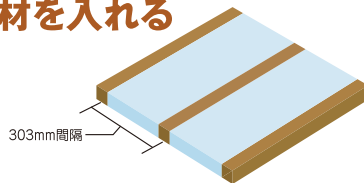
新しい【根太】は303mm間隔で配置し、【接着剤】と【スクリーネイル】を用いて固定する。段差や傾きのないように高さ調整を行い、床鳴り防止のため壁との間は5mm程度隙間をあける。



に張り替える

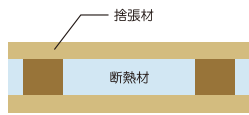
STEP 4 断熱材を入れる

【根太】の間に隙間なく【断熱材】を入れる。【根太】の高さに合う【断熱材】を選ぶ。

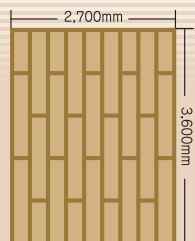


STEP 5 捨張材を張る

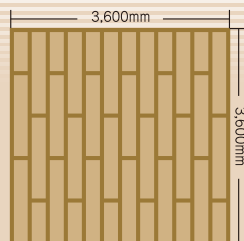
【根太】を固定し、【断熱材】を入れたら【根太】の上に【捨張材】を張る。【捨張材】の継ぎ目は2mm程度の隙間をあけ、段差のないように【根太】に固定する。



フローリング材の必要枚数の目安



6畳間の場合…約18枚
※約9.9㎡ (3ケース)

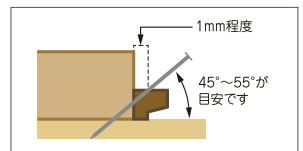
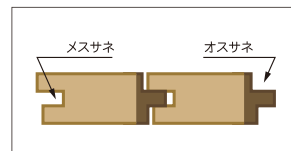
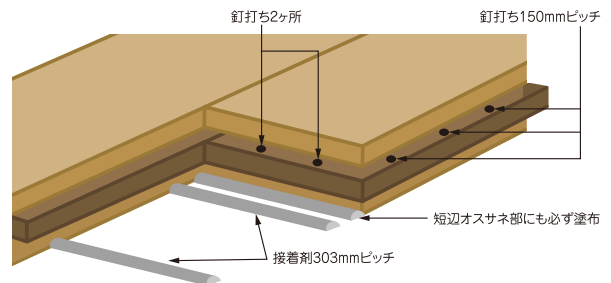
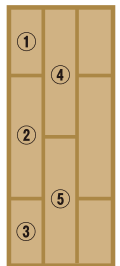


8畳間の場合…約24枚
※約13㎡ (4ケース)

STEP 6 フローリングを張る

最後に【捨張材】の上に【フローリング材】を張っていく。

- ①【フローリング材】を仮並べし、全体の色、木目のバランスを確認する。
- ②張り始めはメスサネを壁に向けて、①②③の順に【接着剤】と【スクリーネイル】を併用して張っていく。
- ③【フローリング材】同士をつなげる際は、直接【金づち】で叩かないように、必ず当て木をして【金づち】で叩くようにする。



作業は表面に続きます▶▶▶

事前準備チェックリスト

- 根太
- 断熱材
- 捨張材捨張材(構造用合板)
- 電気丸ノコまたはノコギリ
- 差し金
- 金づち
- マイナストライバーまたはノミ
- メジャー
- フローリング材
- スクリーネイル
- ポンチ(釘締め)
- 接着剤
- えんぴつ

注意) 商品の詳しい使い方は、それぞれの説明書をご覧ください。
掲載商品の写真は、実際の商品と異なる場合がございます。



エンチョーwebサイト
はこちらから！

発行/(株)エンチョー
〒417-0052 静岡県富士市中央町2丁目12番12号
☎0120-57-0803 <https://www.encho.co.jp/>



この小冊子は、環境保護のため再生紙を使用しています。

No.20-2304